

2008年10月3日  
東日本旅客鉄道株式会社

## 東北新幹線 上野駅～大宮駅間信号システム障害の原因について

過日、2008年9月28日(日)に発生した、東北新幹線 上野駅～大宮駅間の信号システム障害に起因する輸送障害で、多くのお客さまに大変ご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。当事象については、原因究明と再発防止に全力を挙げているところでございますが、現在までに判明した事実と、今後の対策等についてお知らせいたします。

### 1. 概況

9月28日8:07頃、東京新幹線車両センター(東京都北区)の列車進路を自動で制御するコンピュータ(以下「自動進路制御装置」という)が故障し停止、上野駅～大宮駅間の上下線で信号システムが制御不能となり、東北・上越・長野の各新幹線は全線で運転を見合わせました。直ちに復旧作業に全力を挙げましたが、故障箇所の特定に時間を要しました。

この影響で、やまびこ202号(仙台発東京行)とあさま504号(長野発東京行)の2本が駅間に停車したままとなってしまったため、社員を現地へ派遣し、お客さまにはご降車いただいて、徒歩にて山手線田端駅へご案内いたしました。その後、復旧作業が完了し、12:00に順次運転を再開いたしました。

### 2. 原因

故障の原因は、東京新幹線車両センターの自動進路制御装置内にあるハードディスク故障であることが判明しました。(ハードディスク内のデータにアクセスする際エラーを検知し、アクセスできませんでした。)また、この装置は二重系になっており、装置故障の際には故障した系から正常な系に切り替わる機能になっていますが、この系切替のためのソフトウェアにも不具合があり、切り替わりませんでした。今後、更に詳細な原因調査をいたします。

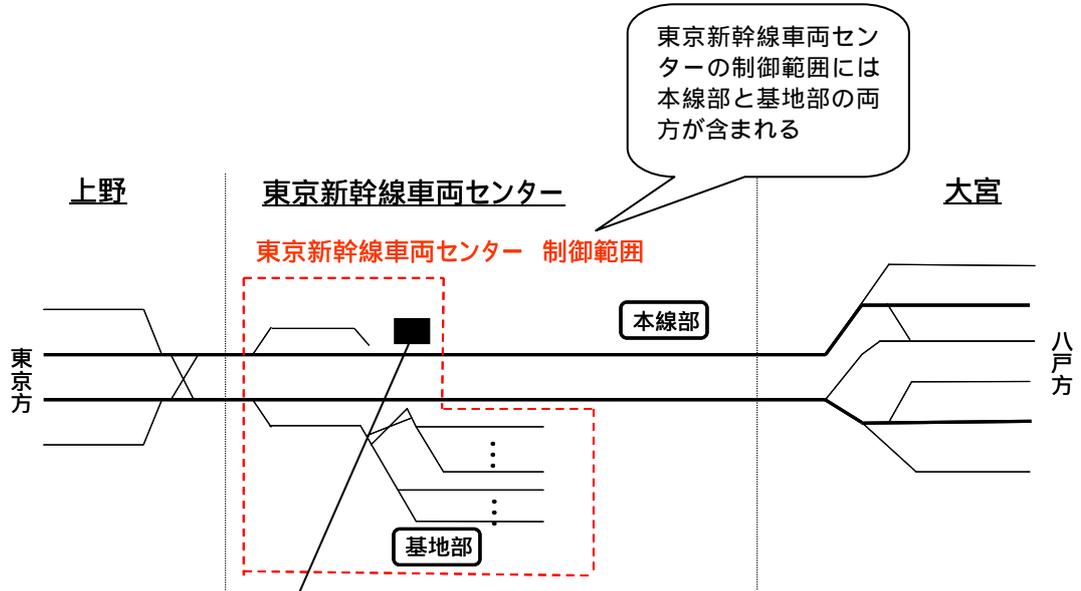
### 3. 今後の対策について

- (1) 故障した東京新幹線車両センターの自動進路制御装置のハードウェアは、9月28日夜間に取替済です。
- (2) 系切替のソフトウェアについては、10月6日以降、順次改修してまいります。
- (3) 復旧体制等の改善を図り、復旧時間等の短縮に努めます。

以上

概略図

東京新幹線車両センター  
自動進路制御装置 制御範囲概略図



システム構成図

